四十八歳の抵抗（1956）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 109分
初公開日 1956/11/14

【解説】
石川達三の同名ベストセラー小説を、新藤兼人が脚色し吉村公三郎が監督した。主人公をそそのかすメフィストフェレスのような部下を船越英二が演じた。
保険会社で次長を務める西村耕太郎は48歳。部下の曽我法介に誘われ、慰安旅行先の熱海の歓楽街や東京の夜の街を徘徊し、バーで19歳の少女ユカと出会い「おじさま好きよ」などと言われる。家に帰ると、年頃の娘が男と旅行に出かけたと妻が泣いていた。しかも相手は娘よりも年下だという。耕太郎は自分のことを棚に上げ、旅行から戻った娘に説教をするのだった。そんな耕太郎はユカを熱海旅行に誘い出すことに成功。夜の浜辺を二人で歩き、ホテルに戻り結婚を迫るのだった。

【クレジット】
監督 吉村公三郎
製作 永田雅一［製作］
企画 川崎治雄
原作 石川達三
脚本 新藤兼人
撮影 中川芳久
美術 間野重雄
音楽 池野成
出演 山村聡 So Yamamura
若尾文子
雪村いづみ
小野道子
船越英二
川口浩
杉村春子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.